

組合総会 開かれる

2018 年度組合総会が 3 月 8 日に組合結成の聖地である KKR ホテル金沢で開催された。総会成立の要件が確認されたあと、活動報告および会計報告が行われ、次いで次期執行委員が選出された。さらに 2019 年度の活動方針と予算案が承認され閉会。引き続いて懇親会が催された。

懇親会では定年を迎えられた上森良男教授の送別も行われた。

2019 年度執行委員

執行委員長 荒川 靖
書記長 高橋達雄
執行委員 井上裕子

副執行委員長 東 康彦
会計 松原京子
会計監査 林 敬

会計資料添付

2018 年度北陸大学教職員組合決算報告書
(2018.2.25～2019.2.24)

収支計算書

I 収入の部	予算	決算
前年度より繰越	9,297,672 円	9,297,672 円
組合費	600,000 円	511,000 円
寄付	- 円	50,000 円
金利	- 円	20 円
行事収入	60,000 円	60,000 円
雑収入	- 円	- 円
合計	9,957,672 円	9,918,692 円

II 支出の部	予算	決算
事務用品費	50,000 円	238 円
郵便・通信費	50,000 円	6,685 円
コピー・印刷費	50,000 円	1,384 円
資料収集費	50,000 円	- 円
上部団体納入費	350,000 円	302,500 円
旅費等出張費	200,000 円	- 円
会議費	30,000 円	- 円
弁護士費用	200,000 円	- 円
振込費等会計処理費	20,000 円	5,400 円
慶弔費	200,000 円	80,000 円
行事費	200,000 円	209,060 円
予備費	300,000 円	- 円
合計	1,700,000 円	605,267 円

収支残高	9,313,425 円
------	-------------

貸借対照表

I 資産の部	
預金残高	9,164,864 円
(内訳)	
北陸銀行	172,262 円
郵貯銀行総合口座	35,735 円
通常貯蓄貯金	2,108,622 円
金沢信用金庫	82,445 円
郵便振替口座	6,765,800 円
現金残高	148,561 円
合計	9,313,425 円

II 負債の部	
借入金	- 円
合計	- 円

以上のように決算報告をいたします。

2019年 3月 4日

会計

松原京子



以上の決算は正確であることを証明します。

2019年 3月 4日

会計監査

林 敬



北陸大学教職員組合 2019年度 予算案

1. 予算編成基本方針

小倉理事長・学長体制による大学運営の下、法人と本教職員組合とは、団体交渉や合意のプロセスを含め、健全なる関係を構築しているところである。しかしながら、本学の完全な正常化には道程がまだあり、本教職員組合は今後もその過程を厳しく見守る必要がある。また、一昨年度からの4学部体制への改組に伴って、様々な教育改革が断行されている最中であり、労働条件を含む規定の変更も引き続き行われる予定である。

この状況にあつて、今期の予算は、次の事項に重きを置いて編成することとした。

(1) 収入の部に関しては、組合員の新規加入獲得に注力し、組合の勢力の拡大と財政的基盤の強化を図る。

(2) 支出の部については、より強い組合の実現を目指して組合員の団結を深めるための情報収集・教宣活動の強化を図り、組合活動の効率化のための諸態勢を整える。

その他、組合出動の危機に備えて経費の緊縮に努める。

2. 予算配分

収入の部

(単位円)

前期からの繰り越し	9,313,425
組合費	300,000
行事収入費	30,000
合計	9,643,425

支出の部

(単位円)

事務用品費	25,000
郵便・通信費	25,000
コピー・印刷費	25,000
資料収集費	25,000
上部団体納入費	300,000
旅費等出張費	50,000
会議費	25,000
弁護士費用	100,000
振込費等会計処理費	10,000
慶弔費	100,000
行事費	200,000
予備費	150,000
合計	1,035,000

収支残高	8,608,425
------	-----------

荒川執行委員長の抱負

今年度で 11 年目の執行委員長となりました。本組合は、結成時の背景に、当時の理事会からの一般教職員への不当な支配や弾圧があり、それを是正するために労働組合法に則って結成されたものです。

一般に組合というと、特定政党と結びついて身勝手な主張を展開し、経営を不当に圧迫したり、業務を妨害したりするような、一部組織のイメージが強く印象づけられているかもしれませんが、本組合は特定の思想、宗教や政党との関連はまったくありません。組合員の支持政党も様々です。

北元氏が理事長をしていたときに理事－教員面談が行われた際のこと。北元氏は次のように私に向けて言いました。

「おい荒川氏、何か意見があるなら言ってみろ。だからといって何も変わることはないが。」この瞬間に、私は北陸大学の浄化を積極的に行う必要性を痛感した訳です。

本組合は、北陸大学の教職員が職場に魅力を感じ、生き活きと仕事ができるような環境づくりを法人に提唱していくことを信条としています。そのためには皆様のご理解とご支援が不可欠です。私も、より良い大学になるよう努力いたしますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

東副執行委員長の抱負

本教職員組合の目的の 1 つは、「働きやすい、やりがいのある職場環境」を目指すことです。特に、【教職員の待遇】と【教育と研究の環境】の両方が充実していないと、「働きやすい、やりがいのある職場環境」であると実感することができません。本学をより良い職場とするためには、法人側と対話を重ね、各教職員の意見を積極的に届けていくことが必要であると思います。

皆さま、ご意見やご要望などを組合にお伝えください。また、ご支援とご賛同のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

高橋書記長の抱負

本組合は、教職員がよりよい環境の下で仕事ができるよう法人との話し合いを続けております。教職員の働きが正当に評価されるよう訴えていくことはもちろんですが、不満や苦情を法人に伝えることも大きなトラブルを未然に防ぐために重要なことです。労働意欲の向上は、法人側にとっても大きなメリットになると思いますので、よりよい職場環境の実現のため皆様の忌憚のないご意見をお待ちしております。今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

今年度新規採用の皆様へ、また現教職員の皆様へ（組合費を一律1,000円/月に変更）

北陸大学へようこそ。本学の印象はいかがでしょう？また、現教職員の皆様におかれましては、やりがいを感じながら仕事に邁進できているでしょうか？

本学法人理事会はこれまで教育改革と称し、改組を繰り返し、軌道に乗り始めたものですら壊してしまう傾向にありました。また、我々は、到底達成できそうもない目標を掲げられ、成果が出ないのは教育職員の責任と責められ続けてきました。

薬学部では、過去に入学定員 460 名という極端な増員や入試の全校指定校導入の時期がありました。これにより、高校生やその保護者ならびに高校教員の本学への信頼はガタ落ちし、今なおそれが尾を引いています。また、学生便覧によれば、2017 年 4 月における薬学教員数は 68 人（みなし教員を含む）でしたが、2019 年 4 月では 57 人（みなし教員を含む）に減少しています。11 人分の仕事を 57 人がカバーしていることになります。単純計算するなら、この 2 年間で約 2 割増しの働きとなります。しかしながら、賞与支給率のアップは滞っており、仕事量が増すばかりで、労働環境は悪化しています。組合は、このような事項に強く抗議しています。その他にも抗議してきたことについては、北陸大学教職員組合ホームページ（<http://www.hussu.jpn.org>）をご覧ください。組合ニュースのバックナンバー、組合二十年史、組合活動内容や要求事項などが掲載されています。

本学教職員組合費を **1 月あたり一律 1,000 円**に変更しました。本学の職場改善のためにも、皆様のご加入を心よりお待ち申し上げます。

お問い合わせ先

薬学キャンパス：荒川・東・高橋・松原

太陽が丘キャンパス：井上